

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110A	総合ゼミナールⅠ（江良友子）	江良友子			1	必修	2前期
科目の概要							
図書館司書科目で学んできた図書館サービスを実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして図書館の「館内展示」と校内掲示板の「掲示」の制作、『図書館だより』の発行を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館見学会などを行う。（基礎知識の獲得・活用・応用） 受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、建学の精神を踏襲するとともに社会人基礎力を育成し、図書館司書の仕事に必要な課題解決型能力を身につける。 （ディプロマポリシー①・②・③・④・⑤・⑥に相当する）							
学修内容			到達目標				
① 館内展示の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ② 掲示板の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ④ 司書資格取得科目で学んだ読み聞かせやPOP作成技術等を使ったコミュニケーションを実施する（自主企画）。 ⑤ 図書館で学んだことを活かして、大学・社会へ貢献をする。			① 貸出に繋がる館内展示を考え、制作することができる。（ディプロマポリシー②） ② 図書館と本の魅力をアピールする掲示を考え、制作することができる。（ディプロマポリシー②） ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールすることができる。（ディプロマポリシー②） ④ 本学・他大学の学生や図書館職員、地域の人々と交流するための企画立案・製作・参加ができる。（ディプロマポリシー①・③・④） ⑤ 大学と社会貢献に繋がる活動に参加することができる。（ディプロマポリシー①・④・⑤・⑥）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をすべきか見極め、自発的に作業に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	更に良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、制作に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	常に周りの動向に注意を払い、正確な作業工程を把握して作品制作ができる。					
	計画力						
	創造力	図書館利用者を意識した、館内展示、掲示、図書館だより制作ができる。					
チームで働く力	発信力	本や紙芝居など資料をハブとしたコミュニケーションを本学・他大学の学生、図書館員や地域住民と取ることができる。					
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ他者の話にも耳を傾けることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：必要に応じて参考資料等を配布する。 参考文献：必要に応じて配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：図書館に関する全ての科目 資格との関連：図書館司書							
学修上の助言			受講生とのルール				
司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。 受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。 図書館だけでなく、展示・掲示制作で参考となる博物館などへ自ら足を運び、学習することが望ましい。			無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。 授業時間以外の時間、土日や休暇期間を使って作品制作・行事へ参加をする場合がある。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
		レポート	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓					（発表）30点 ・作品（館内展示・掲示・図書館だより）について解説することができる（基礎知識の習得・活用）。 ・他者の発表に対して質問や感想を述べることができる（基礎知識の応用）。 ・自分たちが培ってきた社会人基礎力を活かして発表するための資料作り・発表準備・プレゼンテーションができる（基礎知識の習得・活用）。 （制作物）30点 ・館内展示（タイトルボード、各本の紹介、季節に合わせた飾りつけなど）、図書館入り口のカフェボード（基礎知識の習得・活用・応用） ・大学玄関口掲示（図書館への案内、本の紹介など）（基礎知識の習得・活用・応用） ・図書館だより（企画・レイアウト・校正など）（基礎知識の習得・活用・応用） （その他）30点 ・ゼミとして参加する学校・地域の行事やイベントの準備・参加ができる（15点） ・自主企画立案・準備・実行がもれなくできる（15点）
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
				⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				（主体性） ・自主企画の企画内容・実行状況・反省の取り組み姿勢を評価する。 （実行力） ・担当となった展示・掲示・図書館だよりの取り組み姿勢を評価する。 （課題発見力） ・各作業について周りの状況を確認しながら進めることができているかを評価する。 （創造力） ・図書館利用者の実態に合った作品を考え、創作することができているかを評価する。 （発信力） ・紙芝居・読み聞かせ、プレゼンテーションなど、人前で発表する姿勢を評価する。 （傾聴力） ・自分と異なる意見にも耳を傾け、それを踏まえた提案をすることができているかを評価する。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた時は、積極的に参加し、発表することができる。 割り当てられた作品を期日までに制作でき、図書館利用推進に繋がるものに仕上がっている。 学校内外の行事・イベントに意欲をもって臨み、参加することができる。 社会人基礎力の学修態度が9割以上達成できている。 A（優）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には参加し、発表することができる。 割り当てられた作品を期日までに制作でき、図書館利用推進に繋がるものになるよう、努力できている。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することができる。 社会人基礎力の学修態度が8割以上達成できている。	B（良）評価 ゼミの時間以外に参加・発表の場が与えられた場合は、参加・発表するよう努力している。 割り当てられた作品を期日までに作成できている。 学校内外の行事・イベントに参加できている。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 C（可）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には、参加できている。 割り当てられた作品を期日までに制作するよう努力している。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することが難しかった。 社会人基礎力の学修態度が6割以上達成できている。或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画の検討を行う	講義 話し合い PC・タブレットを使用した調査を含む	授業の趣旨を理解し、前期計画に自分の意見を反映させることができる。	(第1回予習) 自主企画の案を考えて図案化する。 (復習) 自主企画の見直しを行う。 (予習) 資料貸出増加に繋がる展示にするために必要なことを考える。	90	主体性 傾聴力 規律性
2～5	館内展示 図書館内の展示企画と作成、参考となる図書館見学を行う (基礎知識の獲得・活用・応用)	演習(作成) 図書館見学(予定) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	館内展示(5～8月分)の企画・作成、展示作業を行うことができる。	(各回予習) 魅力的な展示にするために必要なことを考え、発表できるようにまとめる。 (各回復習) 展示の企画・作成・展示作業の振り返りを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6～9	掲示 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う (基礎知識の活用・応用)	演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	掲示(5～9月分)の企画・作成、掲示作業を行うことができる。	(各回予習) 月替わり展示・掲示制作作業 ・季節 ・色使い ・レイアウト を考える。 (各回復習) 掲示の企画・作成・掲示作業の振り返りを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10・11	自主企画 (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習又は実習、見学 PC・タブレットを使用した調査を含む	自主企画案を出すことができる。 決定した内容に沿って作業に参加できる(制作物の場合は完成させることができる)。	(各回予習) 第1回授業で決定した自主企画準備 ・日程 ・材料 ・道具 (各回復習) 自主企画の企画・作成・作業の振り返りを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13・15	図書館だより 図書館だよりの企画と制作を行う (基礎知識の獲得・活用・応用) ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 秋号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(各回予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本 (各回復習) 図書館だよりの企画・作成・発行作業の振り返りを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	前期の反省会 後期の計画 (基礎知識の活用・応用)	オンデマンド授業 13週分の授業で作成・実施した内容について講評する	前期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 後期分自主企画の計画案を立てることができる。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題をあげることができる。 前期の反省を踏まえ、後期の自主企画案を考えることができる。 ☆出席課題 前期の反省と課題、後期の自主企画案を書いてグループクラスルームで提出をする。 (各回復習) 図書館だよりの企画・作成・発行作業の振り返りを行う。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110B	総合ゼミナールⅠ（大森有希乃） Seminar（Food and nutrition）	大森有希乃			1	必修	2前期
科目の概要							
人間は生きるための栄養素を食事から摂る。「食べること」は単に栄養素を摂取することだけでなく、健康を維持したり、おいしく食することで心の豊かさを育てる。また共に食えることにより社会性を育んでいく（ディプロマポリシー①）。「食べることは生きること」であり、食をおいしさ、文化、栄養、安全性など様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもある（ディプロマポリシー①②③④⑥）。獲得してきた知識を活用し、レシピコンテスト、地域貢献活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につけていく（ディプロマポリシー④）。そして、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらゼミ活動を行うことによって、pisa型学力の修得とともに健康な体と健全な精神を修得することを目指していく（ディプロマポリシー①②③④⑥）。							
学修内容				到達目標			
① 食に関する活動（地域貢献活動 など）を通じて、おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画運営ができる実践力を養う。 ② 食物アレルギーについて、基本知識を理解する。 ③ 日本の食料自給率が低い現状を理解し、地域の食材をどのように活用するかを学ぶ。 ④ 食に関するコンテストに応募し、コンテストの趣旨にあったレシピを作成する。 ⑤ レシピ開発を学ぶ。アイデアの発案から、試作、評価、改善までの一連のプロセスを理解し、オリジナルのレシピを作成する。 ⑥ 地域社会との連携と食の支援活動を学ぶ。				① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる（ディプロマポリシー①②③④⑥）。 ② 食物アレルギーの対応について理解し、食物アレルギーの課題解決のレシピを提案することができる。（ディプロマポリシー①②③④⑥） ③ 地産地消を通じた食料自給率向上の課題解決能力を身につける。（ディプロマポリシー①②③④⑥） ④ 食の問題を見出し、課題解決のレシピを作成し、コンテストに応募することができる。（ディプロマポリシー①②③④⑥） ⑤ ターゲット層に適したレシピを考案し、食材の選定や調理法を効果的に立案できる。（ディプロマポリシー②③④⑥） ⑥ 実際の子ども食堂の運営に参加することによって、地域の課題解決に貢献する能力を養う。（ディプロマポリシー①④⑥）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす。					
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずにゼミの仲間や先生に相談する。					
	実行力	ゼミ活動は、粘り強く取り組み、目標を達成する。					
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する。					
	計画力	イベント参加や資格試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行する。					
	創造力	一つの知識からだけではなく、いろいろな知識を組み合わせるアイデアを考える。					
チームで働く力	発信力	相手の目（顔）を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかの反応をみて、相手に分かりやすく伝える力を身につける。					
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く。					
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かってゼミ活動を進める。					
	状況把握力	仲間の行動を見ながら、自分のやるべき役割を考えて行動する。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	ストレスを乗り越えれば次は楽になるという前向きな気持ちを持ち、ゼミの仲間や先生に相談したりして取り組むようにする。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。必要に応じて、資料を配布する。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ゼミ選択時においてフードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目を受講していることが望ましい。 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい。 ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加する。 ・食に関する情報に関心を持って欲しい。				・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある。 ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する。 ・調理実習時は、身だしなみ（白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど）に注意する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		⑥	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	30	①	✓	⑥	✓
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓	⑥	✓
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価割合				100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる。③ゼミ活動を通し、常に自分の学びを振り返り、次の目標をもつことが身についている。④レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う。 S（秀）＝①＋②＋③または④、A（優）＝①＋②	①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる。③レシピコンテストに参加し、よりよいレシピに仕上げるよう努力できる。 B（良）＝①＋②＋③、C（可）＝①＋②

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について 食品、食材について知る（むらさき麦）	講義 グループ討議 グループ討議後、口頭にてフィードバックする	ゼミの方針を理解できる。 今年度のゼミとしての活動目標・内容を検討し、役割分担をする。	（復習）ゼミでの目標をまとめる。 （Googleclassroomで提出する） （予習）むらさき麦を使ったお菓子のレシピを作成する。 （Googleclassroomで提出する）	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	食品、食材について学ぶ（むらさき麦）	講義 グループ討議 プレゼンテーション グループ討議後、口頭にてフィードバックする	むらさき麦を使ったお菓子を提案できる。	（復習）むらさき麦を使ったお菓子のレシピを作成する。 （Googleclassroomで提出する） （予習）調理実習の準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	食品、食材について学ぶ ・むらさき麦を使ったお菓子の開発（試作・試食・改善）	実習（グループ） 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	むらさき麦を使ったお菓子を提案できる。	（復習）レシピを修正する。 （Googleclassroomで提出） （予習）調理実習の準備をする。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	食品、食材について学ぶ ・むらさき麦を使ったお菓子の開発（試作・試食・改善）	実習（グループ） 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	むらさき麦を使ったお菓子を提案できる。	（復習）レシピを修正する。 （Googleclassroomで提出） （予習）機能性表示食品について調べる。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	食品、食材について学ぶ ・機能性表示食品について学ぶ レシピ開発（提案） ・機能性表示食品を使ったレシピを開発する	講義 グループ討議 プレゼンテーション グループ討議後、口頭にてフィードバックする	機能性表示食品とは何かを説明できる。 機能性表示食品を使ったレシピを提案できる。	（復習）機能性表示食品を使ったレシピを作成する。 （Googleclassroomで提出） （予習）調理実習の準備をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	レシピ開発（試作・試食・改善） 機能性表示食品を使ったレシピを開発する	実習（グループ） 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	機能性表示食品を使ったレシピを提案できる。	（復習）レシピを修正する。 （Googleclassroomで提出） （予習）むらさき麦祭りの目標を立て、段取り表を作成する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	むらさき麦お菓子グランプリの参加 むらさき麦を使用したお菓子を作成し、グランプリに参加する	実習 学外実習 学外実習後振り返りシートを実施する （Googleclassroom） 点検し、フィードバックする	自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）決定したレシピを作成する。学外活動を振り返ってレポートを提出する。 （Googleclassroomで提出）	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	レシピ開発（試作・試食・改善） 機能性表示食品を使ったレシピを開発する	実習（グループ） 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	機能性表示食品を使ったレシピを提案できる。	（復習）レシピを修正する。レシピをまとめる。 （Googleclassroomで提出） （予習）高齢者の食事、かむことの意味を調べてまとめる。 （Googleclassroomで提出）	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・歯や口が健康であるための食事について学ぶ ・高齢者の特徴を学び、口から食べることの必要性を学ぶ	演習 グループワーク レシピ作成（パソコン使用） プレゼンテーション グループワークでプレゼンテーションしたレシピを点検し、フィードバックする	高齢者の特徴を理解し、高齢者がよく噛んで食べることができるレシピを作成することができる。	（復習）レシピを作成する（パソコン使用）。 （予習）材料を準備する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10、11	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・高齢者がよく噛んで食べることが出来る地元食材を使用したレシピを立案し、調理する（講義で獲得した知識を活用し、高齢者の食も問題点を見出し、よく噛んで食べることができる料理を調理し、高齢者の食を問題を解決する）	実習（グループ） 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）レシピを修正する（パソコン使用）。 （予習）地産地消について調べてまとめる。 （Googleclassroomで提出）	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	歯ツッピーレシピコンテストへの応募 食料自給率と地産地消について学ぶ	オンデマンドによる講義 応募用紙と地産地消レシピを作成する（パソコン使用） 作成したレシピを点検し、フィードバックする	歯ツッピーレシピコンテストに応募できる。 愛知県の食材を使用した地産地消のレシピを提案できる。	（復習）レシピを作成・修正する。 （予習）レシピのプレゼンテーションの準備をする。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
13	地産地消について学ぶ 米粉の活用について学ぶ	講義 グループワーク レシピ作成（パソコン使用） プレゼンテーション グループワークでプレゼンテーションしたレシピを点検し、フィードバックする	愛知県の農畜産物を理解できる。 地産地消のレシピを作成できる。	（復習）レシピを作成、修正する。（パソコン使用） （予習）調理実習の準備	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	地産地消、米粉活用のレシピ開発（試作・試食・改善）	実習（グループ） グループ討議 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する 発表後、口頭でフィードバックする	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）レシピを作成し、修正する。（パソコン使用）	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	地産地消、米粉活用のレシピ開発（試作・試食・改善） まとめ	実習（グループ） グループ討議 グループ討議後、発表し、口頭にてフィードバックする	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。 ゼミ活動の反省から課題を見出し、総合ゼミナールⅡへの提案ができる。	（復習）レシピを作成、修正する。（パソコン使用） 振り返って、ゼミ活動について感想を書く。 （Googleclassroomで提出）	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110C	総合ゼミナールⅠ（木村典子）	木村典子			1	必修	2前期
科目の概要							
テーマ「健康について考えてみよう」 健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティックに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。（DP③） また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。（②）健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思っています。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つを丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たちとの交流を通して、特にチームで働く力の修得を目指していきます。（DP①②④⑥） また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとりくみ、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。（DP②③④⑥）							
学修内容				到達目標			
① 健康評価の質問紙などを活用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。 ③ 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。 ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を振り返り、チームで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接して、健康とライフサイクルを考える。 ⑤ ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。 ⑥ 健康管理能力検定2級など、2つ以上の検定に向けて、挑戦をする。				① 健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。（DP②③④） ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。（DP①②③④⑤） ③ 医療・福祉現場の機能と役割について述べるができる。（DP①②③④） ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。（DP①②③④⑤） ⑤ 資料を作成して、ゼミ活動を他者にわかりやすく伝えることができる。（DP①②③④⑥） ⑥ 健康管理能力検定などの検定2つ以上挑戦する。（DP②③）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。					
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。					
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。					
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。					
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見が述べることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。					
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて行動できる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。 事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行ってくることを。				講義と文献学習、実践、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について理解を深めていってもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	40	①	✓	⑥	✓	・自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ・ライフサイクルと健康(こども、成人、高齢者)についてまとめている。 ・生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 ・見学を通して、施設の役割を述べている。 ・活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ・ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもてている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	・pisa型学力 授業で学んだことことをもとに、SDGs活動、まちづくり活動などの活動を企画、提案をできる。提案した企画を実施し、振り返りをする。これらの過程をわかりやすくパワーポイントにまとめ、説明できる。 ・授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況を確認するために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。 ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	(主体性) 自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めている。 (実行力) 目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、運動させて考えることができる。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 (創造力) 課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 (状況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
秀 1. 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者にもアドバイスできる。 2. ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 3. ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネジメントができる。 4. レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 5. ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 6. 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 優 1. 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へのアドバイスできる。 2. ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、目標をもつことができる。 3. ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 4. ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れることができる。 5. ゼミの時間割外での活動に参加することができる。 6. 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。	良 1. 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2. ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3. ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 4. レポート、作品が期日までにでき、他者に説明することができる。 5. 社会人基礎力に関する行動事例が達成しようと努力できる。 可 1. 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力が行動がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2. ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3. ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する。	（復習）自分のやりたいことをまとめてレポートにする（予習）まちづくりプロジェクトの発表の準備をする。私の思い出のお菓子の歴史と自分の成長をリンクさせて考えてみる。	60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	（復習）まち歩き、調査の結果をまとめる。 （予習）PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	（復習）まち歩き、調査の結果をまとめる。 （予習）PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	私の成長と私の思い出のお菓子	プレゼンテーション 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方について理解する。	（復習）回想法についてまとめる。（予習）認知症カフェ、サロン活動のレクリエーションとして活用できる回想法のツールを作成する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8	自分でできる健康度チェック 客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の弾力性	プレゼンテーション 演習	客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価していき、自分の健康について考えることができる。	（復習）自己の健康管理のレポート作成をする。（予習）ストレスと自律神経についてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
9	オンデマンド 心の健康と自己コントロール。文献を読んで、心の健康について考えていきます。	プレゼンテーション演習	文献を読んで、自分の意見を発表できる。	（復習）発表のための資料作成。 心の健康 手記を読んで考えたこと（予習）まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます SDGs活動、OKフード活動の提案をカード法を用いて、みんなで検討していきます。地域住民からとったデータ、実際の活動から考える	演習 プレゼンテーション 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	よりよいOKフード活動、まちづくりについて、自分の言葉で説明できる。	（復習）発表のための資料作成心の健康 手記を読んで考えたこと（予習）まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施する。触れるケア背部マッサージハンドマッサージ	プレゼンテーション 実験エッセンシャルオイルによつてのアミラーゼの変化	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施の企画、運営、振り返りができる。	（予習）皮膚感覚の解剖生理について調べてくるアロマセラピーの効用（復習）企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
14・ 15	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康 SDGS活動、OKフード活動をするために、企画書を計画し、予行練習する。 生デまちづくりプロジェクト 今までのSDGS活動、サロン活動、認知症カフェ活動、まち歩き、調査したデータをもとに、よりよいサロンの提案ができる。	演習 プレゼンテーション	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康の関係について説明できる。 企画、運営、振り返りができる。 A3一枚に、わかりやすく、矢作北地域の特徴をまとめることができる。	(予習)生活と健康について、ゼミで分担して調べる(復習)認知症カフェ、こどもまつり企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110D	総合ゼミナールⅠ（河合龍二）	河合龍二			1	必修	2前期
科目の概要							
このゼミは「自己表現力を磨こう」をテーマとする。文字表現から文章表現・音声表現まで、さまざま分野にな挑戦する。その過程で適性や潜在能力に気づき、自らの可能性を広げることをねらいとする。成果物を残し、集約して発表する機会をつくる。（ディプロマ・ポリシー①②③④⑥）							
学修内容			到達目標				
① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践する。 ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践する。			① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践することができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④⑥） ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④⑥） ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。（ディプロマ・ポリシー①②③④⑥）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業での対話や実践などに、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力	自ら得意とする分野に関する知識やスキルを、他に伝授できる。					
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。					
考え抜く力	課題発見力	さまざまなことにチャレンジする中で、適性や潜在能力に気づき、自らの課題を発見し才能を伸長することができる。					
	計画力	個人またはチームの作品制作について、タイムスケジュールを立てて準備できる。					
	創造力	個人またはチームのテーマについて成果を上げる方策を考え、独自の表現ができる。					
チームで働く力	発信力	ゼミ全体の共通テーマについて、各自の表現スキルを組み合わせ、創造作品あるいは創作劇等の成果発表に貢献できる。その過程で、表現のポイントを踏まえ意図が伝わるように工夫できる。					
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、長所を見抜いて評価できる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。 参考文献：表現スキルについて、SNS上に先駆者のレクチャー動画が多くある。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言			受講生とのルール				
学生の主体的活動によって成り立つ講座である。本学が掲げる「三つの挑戦」を体現する。河合は水を向けるものの、予定調和なプログラムを押し付けない。何を表現したいのか、自身に問い続けてほしい。個別最適な学修を目指そう。			恥をかくことが許される学生時代に、自身の才能に気付こう。そのためには、健康とチャレンジ精神とが大切である。自由な対話ができる雰囲気の中で、自らテーマを設定する。個人で活動することも構わない。チームあるいは全体で取り組むことで成果を上げることができるテーマを設定してもよい。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	30	①	✓			毎回の振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足りないか記述する。それ蓄積し、常に自らの学修を調整している。 单元ごとの作品づくりや実技・実演について、自ら作成した企画書に沿って積極的に取り組むことができる。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			作品を創作するにあたり、役割を果たし、pisa型学力を発揮できる。 他との対話を通して、自らの強みと弱みに気づき、課題を解決しようとする意欲や態度を示すことができる。 個人の表現スキルを磨きつつ、その成果が他者の生活を豊かにするものになることが望ましい。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）作品づくりや実技に、積極的に取り組むことができる。 （働きかけ力）得意分野の知識やスキルを他へ伝授できる。 （実行力）目標への取組を確実に進めていくことができる。 （課題発見力）調査結果から課題を発見し、解決策を考察する。 （計画力）作業量や作業時間から計画を立てることができる。 （創造力）独自の作品を創作できる。 （発信力）受け取る相手に分かりやすく、作品の意図や改善点を発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは、自ら進んで計画的に物事を進め、積極的に実践し、その成果も優れている。個人活動あるいはグループワークで、他者を配慮した心遣いができる。リーダーシップがあり、発表や作品づくりにおいて指導的役割を果たすことができる。 Aは、Sまではいかないが、上記内容をおおむね充足している。	Bは、自ら進んで物事を進め、実践の意欲は感じられ、その成果もまずまずである。個人活動あるいはグループワークで、地道に努力している。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。 Cは、上記内容をおおむね充足しているが、積極性に欠ける。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの概要と計画、目指す学生像。 文字・言葉表現①（全4回の学修内容例から選択。あるいは独自創作）	説明 シラバスを基に、ゼミナールの活動（自己表現ゼミ）を概観する。 作品創作（企画書） 表現の基盤となる語彙力の大切さを知り、興味関心を高める。	自己表現力を高めることが、将来の自身の活躍につながることを理解できる。	（復習）自己理解を深め、振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになりたいかを確認する。	90	主体性 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
2	文字・言葉表現② 美文、座右の銘等について理解を深め、創作する。	硬筆や毛筆、その他日常にあるものを書具として、お気に入りの言葉を表現する。	言葉選びの根拠を言葉で表現できる。作品のアイデアや工夫を言葉で表現できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
3	文字・言葉表現③ 「今日の一文字」「今日の言葉」の連作	作品創作 一日一語の週間標語を考え、表現する。	言葉選びの根拠を言葉で表現できる。作品のアイデアや工夫を言葉で表現できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	文字・言葉表現④ 文字・言葉表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	プレゼンテーションとしての表現力を発揮できる。傾聴する側は、相手の長所を見抜いて伝える。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）発表体験を通して、何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	文章表現①（全5回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。） 俳句の創作	講義・創作。句会ライブ。 作品の批評会を行い、相互評価をする。	俳句を三句創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	文章表現② 短歌の創作	講義・創作。歌会ライブ。 作品の批評会を行い、相互評価をする。	短歌を三歌創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	文章表現③ 川柳の創作	講義・創作。川柳ライブ。 作品の批評会を行い、相互評価をする。	川柳を三句創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	文章表現④ 作詩・作詞・絵本のシナリオ、エッセイに挑戦	作品創作 伝える相手をイメージし、メッセージを表現する。	相手に伝える工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に何が分かったか、何ができるようになったを確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	文章表現⑤ 文章表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで 創作した作品を発表 し、相互評価をする。	プレゼンテーションと しての表現力を発揮で きる。傾聴する側は、 相手の長所を見抜いて 伝える。	(予習) 発表の準備を しておく。 (復習) 発表体験を通 して、何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	音声表現①(全5回の 学修内容例から選択。 あるいは独自創作。)朗 読、アナウンス、読み 聞かせ、スピーチ、ナ レーション	作品(実演・動画)創 作 発音・発声等音声表現 スキルアップのための ワークショップ	声帯を使った音声表現 スキルについて、理解 を深める。	(予習) 作品(動画) 創作 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	主体性 課題発 見力 計画力 創造力 規律性
11	音声表現② 歌唱、ヒューマンビー トボックス、楽器演 奏、作曲、	作品(実演・動画)創 作 聴衆を意識した表現に 向けて、個人あるいは チームで検討する。	相手に伝わる工夫を提 案できる。	(予習) 作品(動画) 創作 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 規律性
12	音声表現③ 効果音、音響、音づく り	作品(実演・動画)創 作 聴衆を意識した表現に 向けて、個人あるいは チームで検討する。	相手に伝わる工夫を提 案できる。	(予習) 作品(動画) 創作 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 規律性
13	音声表現④ 音あつめ リラクゼー ションサウンド	作品(実演・動画)創 作 聴衆を意識した表現に 向けて、個人あるいは チームで検討する。	相手に伝わる工夫を提 案できる。	(予習) 作品(動画) 創作 (復習) 振り返りシー トを基に何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	実行力 課題発 見力 創造力 規律性
14	オンデマンド 造形表現の企画と準備	視聴とレポート提出 テーマは「造形表現企 画書」を主とする。大 作を視野に、夏季休業 を有効に過ごすことを 考える。	期限を守ってレポート を提出できる。 造形表現に向けて、夏 季休業中の下準備を計 画できる。	(復習) 造形表現の準 備をする。	90	主体性 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	音声表現⑤ 音声表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで 創作した作品を発表 し、相互評価をする。	プレゼンテーションと しての表現力を発揮で きる。傾聴する側は、 相手の長所を見抜いて 伝える。	(予習) 発表の準備を しておく。 (復習) 発表体験を通 して、何が分かった か、何ができるようにな ったを確認する。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110E	総合ゼミナールⅠ（鈴木尊士）	鈴木尊士			1	必修	2前期
科目の概要							
このゼミは、観光の現場に着目した実践的な学びを重視する。マーケティング、経営学、経済学、工学、心理学、景観論といった学問分野の視点から、観光とビジネス、観光と地域づくり、また観光の果たす役割について自ら調べ学び成果物を形にし、発表する機会を作る。世界に進出しても恥じないためにも「建学の精神」、「社会人基礎力」「pisa型学力」を学修する。この授業は、ディプロマ・ポリシーの①④⑥に相当する。これらを身に付けるために行う。							
学修内容			到達目標				
① 岡崎の観光について理解する ② 日本の観光政策について調査し、分析する。 ③ 世界の文化や歴史を知る ④ グループワークを行う際に協力し作業をする			① 岡崎の歴史について理解し自分の言葉で説明できる。（ディプロマ・ポリシー①④⑥に相当する） ② 観光立国としての現状について明快に理解人に伝えることができる。（ディプロマ・ポリシー②⑥に相当する） ③ 世界の異なる文化や歴史の大切さを理解し説明できる。（ディプロマ・ポリシー④⑥に相当する） ④ 周りに配慮し協調性をもって人と接する事ができる。（ディプロマ・ポリシー①④⑥に相当する）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。					
考え抜く力	課題発見力	日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。					
	計画力	旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかりと考え行動することができる。					
	創造力	固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。					
チームで働く力	発信力	自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。					
	傾聴力	チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。					
	柔軟性	一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。					
	状況把握力						
	規律性	遅刻や無断欠席をすることなく、学修することに意欲を出し、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：プリント配布 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
国際理解、アジアの文化と社会							
学修上の助言			受講生とのルール				
普段から世界や観光に関する情報を積極的に見つけるようにしてください。 世界は目まぐるしく変化しています。 情報収集に新聞、テレビ、インターネット、図書館などを活用することを推奨します。			楽しく活気のある授業にするためにも遅刻、無断欠席はやめよう。 恥ずかしがらずに、積極的に自らを出し、いろんなことにチャレンジしていこう。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	10	①	✓			・授業で学習した内容の理解度を自らの言葉で記述することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			・実際に観光地へ行くことが現実的には難しいため、架空で自らが旅行プランナーになり、設定、計画を考えた上で観光ガイドも行うことができる。 ・ほかの人とは違ったオリジナリティを旅行計画に含め発表することができる。 授業を通してpisa型学力、社会人基礎力を発揮することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。 実行力：自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。 課題発見力：日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。 計画力：旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかりと考え行動することができる。 創造力：固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。 発信力：自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。 傾聴力：チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。 柔軟性：一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S-自ら積極的に進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。完成度の高くオリジナリティのある作品ができる。 A-自ら進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。オリジナリティのある作品ができる。	B-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。オリジナリティのある作品ができる。 C-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。作業時間内に作品ができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1・2	オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う 観光産業を学ぶ	講義と演習	ゼミの方針を理解する	(復習)自分がやりたいことをまとめてリストアップする。 (予習)PCや図書館を使用して岡崎市のかんこうについて調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
3・4	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、問題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる (予習)PCや図書館を使用し岡崎市の観光について調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
5・6	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、課題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)岡崎市の観光について発表するために準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
7・8	岡崎市の観光についての発表	プレゼンテーション 講義 魅力・課題点	自分の考えと他人の意見の違いを見つけ分析できる。	(復習)自分、クラスメートが発表して気になった岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)PCや図書館を使用して世界の観光産業について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
10	世界の観光について学ぶ ・衣食住文化	・講義 ・グループワーク ・発表	世界の衣食住文化について理解することができる	(復習)世界の衣食住文化についてまとめる (予習)PCや図書館を使用して世界遺産についてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
11・12	世界の観光について学ぶ ・世界遺産	・講義 ・グループワーク ・発表	世界遺産の魅力・問題点などについて理解することができる。	(復習)世界の世界遺産についてまとめる (予習)まちづくりについてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
13・14	文化を活用した観光と地域の活性化/まちづくりについて学ぶ	・講義 ・グループワーク ・発表	観光地のまちづくりについて理解することができる。	(復習)観光地のまちづくりについてまとめる。 (予習)発表に向けての準備	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
15	前期の活動まとめを行う	オンデマンド 講義 復習	前期の総復習ができ、反省することができる	前期の総復習をしレポートを作成する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	世界の観光について学ぶ ・衣食住文化	・オンデマンド ・講義	世界の衣食住文化について理解することができる	(復習)世界の衣食住文化についてまとめる (予習)PCや図書館を使用して世界遺産についてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110F	総合ゼミナールⅠ（長谷川えり子） Seminar (Fashion Produce)	長谷川えり子			1	必修	2前期

科目の概要

テーマ：「ファッションプロデュース」
 ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界（アパレル、ブライダル、ビューティーなど）の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリショップの出店、全国販売に向けたアクセサリの商品化を行い、企画、制作、販売能力を育成する。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体得することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。（③④に相当する）また、プロジェクト活動の場面で建学の四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮し、これまで獲得してきた知識を活用して、課題解決に結びつけ、自らの可能性を伸ばしていく。（③④⑥に相当する）

学修内容	到達目標
① ファッション業界（アパレル、ブライダル、美容）について動向を捉え、トレンドを分析する。 ② プロジェクト①全国販売されるアクセサリの商品化を目指し、産学連携活動に取り組む。 ③ プロジェクト②学外、大学祭において、アクセサリショップを出店するための商品を企画、制作する。 ④ プロジェクト③地域の方を対象にアクセサリ制作の講座を開催し、魅力を発信する。	① ファッション業界の流通のながれやトレンド傾向を知ることによって現状を捉え、自ら発信することができる。DP③ ② これまでに獲得したスキルを活かして、市場で売れるアクセサリをデザインし企業側に提案することができる。DP④⑥ ③ これまでに獲得したスキルを活かして、企画力、制作スキル発揮し、商品を作ることができる。DP③④ ④ 地域の方を対象とした講座を実施し、もの作りの楽しさ、アクセサリの魅力を発信することができる。DP④⑥

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。
	働きかけ力	
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケジュールを計画し、途中で点検しながら実行する。
	創造力	自分の好きなデザインだけでなく、様々なジャンルのデザインを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、イメージに合わせた提案ができる。
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。
	状況把握力	
	規律性	遅刻無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし 教員作成の資料により進める。
 参考文献：MODE et MODE

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ショッププロデュース
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。	ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・全国販売するアクセサリーの商品化を目指して、商品の企画、プレゼンテーションを行う。 ➤アクセサリー提案では、商品のポイントをわかりやすく、魅力的に発信することができているかを評価する。これまで学んできた知識を活用して、新しい商品の提案を行うために、想定される課題の解決方法を含める。 ・販売するアクセサリー作品を制作する。 ➤ファッショントレンドをとらえ、季節、スタイルに合った作品を評価する。 細部にわたって、丁寧に制作できているかを確認する。 制作したアクセサリーは1点1点仕上がりを教員が確認する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）ファッショントレンド情報を積極的にとらえ活かされているかを作品（アクセサリー、衣裳）で評価する。 （実行力）チームで協力して進めることができているか、報告書より評価する。 （課題発見力）目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたかを報告書より評価する。 （計画力）達成目標に対してスケジュールを途中で点検しながら実行できたかを判断する。 （創造力）様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを作品により評価する。 （発信力）チーム活動では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、活動状況を通して評価する。 （傾聴力）チーム活動では、周りの意見をしっかりと聞きながら行動できたか、活動状況を通して評価する。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A：ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々シーンのファッション提案ができる。 S：上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。 到達レベルB(良)及びC(可)の基準	B：ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。 C：上記の基準に対して、プロジェクト活動は取り組んでいたが前向きな努力が見られない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業の進め方についてゼミ活動についての取り組み方の説明、役割分担を行う。 メンバーの自己紹介を行う。	講義、演習 ゼミの概要を説明し、今後の進め方について話し合う。	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要を捉え、役割分担することができる。	(予習) シラバスを読み、前期の内容をとらえる。 (復習) ゼミ活動での個人目標を設定する。	60	主体性 傾聴力
2	ファッション業界の概要について就職を意識して、ファッション業界（アパレル、美容、ブライダル等）の現状を解説する。	演習 P Pによる業界の説明後、P C活用により業界の概要、会社の実態などの情報を収集し、プリントにまとめる。	ファッション業界研究を行い、就職に活用することができる。	(予習) ファッション業界の会社を調べる。 (復習) 進路に合わせた業界の動向を調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力
3	トレンド情報分析について今季のトレンドについて、カラー、素材、デザインの面から解説する。	演習 P Pによる今季のトレンド解説後、P C活用によりデザイナーの作品情報を収集し、プリントにまとめる。課題は提出後、点検しフィードバックする。	今季のトレンドについてコレクション映像やインターネットより情報を収集することができる。	(予習) 今季のトレンドをネットで検索する。 (復習) 授業の内容をファッション雑誌で振り返りまとめる。	60	創造力 発信力 傾聴力
4	ファッションアクセサリ制作① 金具（ピン、カン）の種類を知り、工具による基本操作を習得し、金具を使ったアクセサリを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	金具を使用したアクセサリが制作できる。	(予習) アクセサリー制作用の金具の種類を調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する	60	主体性 実行力 規律性
5	ファッションアクセサリ制作② ラインストーン、パテを使ったジュエルデコレを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	ジュエルデコレ仕様のアクセサリが制作できる。	(予習) ラインストーンのアクセサリを調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する。	60	主体性 実行力 創造力
6	アクセサリ産学連携企画① 全国販売を目指したアクセサリの商品化活動について、連携先の企業から業界の動向、方針を学び、今年度の活動内容を計画する。	講義、演習 産学連携活動内容の説明を企業側から受講し、今後の進め方についてグループで話し合う。	産学連携活動を理解することができる。これまでの活動内容を把握することができる。	(予習) シラバスを読み、産学連携の内容をとらえる。 (復習) 産学連携での個人目標を設定する。	60	課題発見力 傾聴力
7	アクセサリ産学連携企画② 全国販売を目指したアクセサリを企画する。連携先の企業から業界の動向を学び、新しい提案を行うためにトレンドを活かしたデザインワークを行う。	演習、グループワーク 企画する作品のデザインをP Cを活用して考え、グループ内で発表し意見交換する。	産学連携に対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリを企画することができる。	(予習) アクセサリーの売れ筋商品を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーの作り方を考える。	60	主体性 実行力 創造力 発信力
8	アクセサリ産学連携企画③ 全国販売を目指したアクセサリを制作する。	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリを制作することができる。	(予習) アクセサリーの制作方法を調べる。 (復習) 企画したアクセサリを完成させる。	60	実行力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	キッズアクセサリー講座企画 小学生を対象としたアクセサリー講座の内容を企画し、活動準備を行う。	演習 講座で制作するアクセサリーの試作を行う。 また、講座を円滑に進めるためのプリント、キットの作成を行う。	講座の内容を理解し、制作するアクセサリーを説明することができる。	(予習) アクセサリーの制作方法を調べる。 (復習) 子供に対応できるようにアクセサリー作りの制作方法を再確認する。	60	主体性 実行力 計画力 発信力
10	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーを制作する。	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリーを制作することができる。	(予習) アクセサリーの制作方法を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーを完成させる。	60	主体性 実行力 傾聴力
11	ファッションビジネスプロジェクト① (アクセサリーショップ) ネックレスアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品 (イヤリング) 制作ができる。	(予習) イヤリングの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力
12	ファッションビジネスプロジェクト② (アクセサリーショップ) ピアスアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品 (ピアス) 制作ができる。	(予習) ピアスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力
13	ファッションビジネスプロジェクト③ (アクセサリーショップ) ネックレスアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品 (ネックレス) 制作ができる。	(予習) ネックレスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 課題発見力
15	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーの中間発表会を行う。制作スキルを活用した新しい商品提案をわかりやすく伝え、発信する。	演習 これまでに制作した産学連携用の新商品を企業側に提案発表する。作品のポイント、商品としての価値を提案する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	(予習) 提案するアクセサリーの概要をまとめる。 (復習) 発表後にいただいた講評をまとめる	60	主体性 発信力 規律性
14	アクセサリー産学連携企画⑤ 全国販売を目指して制作したアクセサリーの発表会を行う。制作スキルを活用した新しい商品提案をわかりやすく伝え、発信する。	オンラインにて作品発表 (オンデマンド) 企画内容の画像をGoogleclassroomにアップし、クラス全体で内容を共有し、講評する。	アクセサリーメーカーに対して提案した作品についてクラス全体の内容を捉えることができる。	(予習) 提案するアクセサリー画像を撮影し、アップする。 (復習) 発表作品について、感想をまとめる	60	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110G	総合ゼミナールⅠ（杉浦菜穂子） Synthesis Seminar	杉浦菜穂子			1	必修	2前期
科目の概要							
テーマ：「ファッションクリエイティブデザイナー＝ファッションを通してできることを考える」 被服製作・ファッションについての専門的な知識を修得します。専門知識を活用し、ファッションの力で出来ることを考案、地域貢献活動を実践しアパレル業界の問題解決を目指します。CO ₂ 排出量の増加による地球温暖化が社会問題としてクローズアップされるなか、世界2位の環境汚染産業といわれるアパレル業界においてSDGsを意識した被服製作活動は必須条件です。ジェンダーフリー、ジェネレーションフリーでトレンドを捉えたデザインとはなにかを考え、障がいのある方でも若者でも高齢者でも、だれでも着られる、着やすい作品を創造します。人間の体は一人ひとり違います。個性を大切にしたファッションとは何かを考え、研究していきます。また、ファッションショーに向け「私が1番輝く服」をテーマにデザインし、SDGsを意識した製作活動を進めます。洋裁の基本はもとより、ショー作品を製作することによって、より専門的で高度な洋裁技術を体得します。ゼミ活動を通して建学の精神を実践し、社会人基礎力を身に付け、製作したショー作品を着装して発表することにより、潜在能力の開発を目指していきます。ショー作品製作では獲得した知識を活用し、デザイン画に沿った作品になるよう課題解決を行います。これはディプロマポリシーの①②④⑤に相当し、これらを身に付けるために行います。							
学修内容				到達目標			
① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作する。 ② ファッション環境について市場調査し、分析する。 ③ ファッショントレンドを捉えてデザイン画を描き、製作する。製作したショー作品は、着装して発表する。				① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作することができる。これはディプロマポリシーの①と②に相当し、これらを身に付けるために行います。 ② SDGsに基づき、サステイナブルなファッションデザイン画を作成することができる。これはディプロマポリシーの①と④に相当し、これらを身に付けるために行います。 ③ 製作した作品をトータルコーディネートして着装し、ファッションショーで発表することにより潜在能力を伸ばすことができる。これはディプロマポリシーの⑤に相当し、これらを身に付けるために行います。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ファッションについて情報を積極的に収集し、様々なスタイル傾向を捉える。教員が提示する社会人基礎力を授業で意識して受講することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自ら立てた目標達成に向けて、具体的に行動することができる。					
考え抜く力	課題発見力	トレンドを分析し、着用するうえでの問題点を考えながらデザインを行うことができる。縫製方法を工夫することができる。					
	計画力						
	創造力	環境に配慮し、個々に寄り添い対応したサステイナブルファッションを考え、新しいファッションスタイルを提案することができる。					
チームで働く力	発信力	発表会では、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。自身の作品を表現することができる。					
	傾聴力	チーム活動では互いの考えをディベートし、製作や研究に活かすことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：プリント配布 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッション造形、やさしいソーイング、アパレルパターンメイキング、コスチュームデザイン 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
ファッションを通じて社会情勢に関心を持ちましょう。ゼミ活動を通じて四大精神を実践し社会人基礎力を身に付け、1年で確かな成長を目指しましょう。洋裁の技術修得には時間がかかりますが、こつこつと努力を重ね身に付けていきましょう。				欠席せず、時間、ルール、提出物期限を厳守する。提出物に不備がないかを提出前に確認し、丁寧に仕上げること。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			自らデザインし、作品を製作・発表する。 ・オリジナリティーに溢れ、個々に合った作品かを評価する。 ・細部まで丁寧に製作できているかを評価する。 ・製作の過程で問題が発生した際に、これまでの知識を活用して縫製方法を工夫しているか評価する。 （特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成しており問題ない：B、完成しているが着用の問題あり：C）
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：ファッションについての情報を積極的に捉え、デザインに活かすことができる。 実行力：ファッションと社会の動向を捉え、製作作品で表現できる。 課題発見力：目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができる。 創造力：様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できる。 発信力：発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができる。 傾聴力：チーム活動では、他者の意見をしっかりと聞き、製作に活かすことができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲を欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォロー課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS 下記に加えて、チーム活動において、自分の意見をしっかり発信し、統率力を発揮することができる。作品制作では、完成度の高い構成で表現されオリジナリティがある。 到達レベルA 作品制作に対して一生懸命に取り組み、デザイン性に優れた完成度の高い作品として仕上がっている。	到達レベルB 自分でデザインし、作品を制作することができる。 到達レベルC 上記の内容に対して、提出物の遅延・不備がある。プロジェクト活動に対して意欲的な姿勢がみられない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の内容説明や スケジュール説明を行 う。 学泉祭ファッション ショーの説明、デザイ ン画下絵制作。	講義と質疑応答 教員が1年間の活動内容を 説明する。 グループワーク：パソコン を利用し、学泉祭ファッ ションショー過去作品作 品、外部ショー作品の情報 を収集・分析しまとめる。 デザイン画を点検し、 フィードバックする。	ゼミの内容を理解し、 ゼミの概要が分かる。 学泉祭ファッション ショーの特徴を掴み、 テーマに沿ったデザイ ン画アウトラインを制 作できる。	(予習) シラバスを読 み、ゼミの内容を捉え る。学泉祭ファッショ ンショー過去作品作品 を調べる。デザイン画 下書き。 (復習) デザイン画ア ウトラインを完成させ る。	90	傾聴力 規律性
2	学泉祭ファッション ショー デザイン画着 色・バック着色	演習 教員の説明後、デザイ ン画制作を行う。デザ イン画を点検し、 フィードバックする。	デザイン画に着色す ることができる。バック に着色することができる。	(予習) デザイン画の アウトラインペン入 れ。配色を考案してく る。 (復習) 配色パターン を2～3パターン考案す る。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力
3	学泉祭ショー作品製作 採寸し、原型を作成す る。	演習 教員が原型について説 明後、パターンメイ キングを行う。原型を点 検し、フィードバック する。	採寸をし、原型を作成 できる。	(予習) ショー作品の デザインについて調べ る。自身の寸法を確認 する。 (復習) 原型を完成さ せる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力
4	学泉祭ショー作品製作 コンテストに向けてを 製作をする。 縫製方法を学修し、パ ターンメイキングす る。	演習 教員がパターンのひき かたについて説明後、パ ターンメイキングを行 う。パターンを点検 し、フィードバックす る。	パターンを仕上げるこ とができる。	(予習) 自身の出来上 がり寸法を確認する。 (復習) パターンの見 直し、展開を行い完成 させる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力
5	学泉祭ショー作品製作 布購入準備・素材研究 コンテスト作品、発表 作品の素材研究・手工 程の考案を行う。	演習 教員がショー作品の素 材について説明後、素 材について調べ、手工 程を考案し、試作す る。	デザイン画に合った素 材を理解し、手工程を 考案することができ る。	(予習) 布の使用量に ついてについて調べ る。 (復習) 布を購入し、 地直しを行う。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力
6	学泉祭ショー作品製作 コンテスト、発表に向 けて作品を製作する。 布裁断・印付けを行 う。	演習 教員が布裁断方法につ いて説明後、裁断・印 付けを行う。印を点検 し、フィードバックす る。	用布を裁断することが できる。	(予習) パターン チェックをしてくる。 (復習) ディティールの 縫製方法について調 べてくる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力
7	学泉祭ショー作品製作 発表に向けて作品を製 作する。 仮縫いを行う。	演習 教員が仮縫い方法につ いて説明後、仮縫いを 行う。提出物を点検 し、フィードバックす る。	仮縫いをすることがで きる。	(予習) ディティール の縫製方法について調 べてくる。 (復習) 仮縫いをして くる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力
8	学泉祭ショー作品製作 発表に向けて作品を製 作する。 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正につ いて説明後、各自製作 を行う。提出物を点検 し、フィードバックす る。	仮縫い試着・補正を行 うことができる。	(予習) 仮縫いをして くる。 (復習) パターンの直 しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	(予習) 補正をしてくる。 (復習) 布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
10	学泉祭ショー作品製作に向けての基礎縫い作品を製作するにあたり、ICTを活用し基礎縫いを行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、ICTを活用教材「GFP」を使用し、縫製を行う。クラスルーム上に提出された課題を点検し、フィードバックする。	トップスの縫製ができる。	(予習) トップスのミシン準備。 (復習) トップスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムス（脇）の縫製ができる。	(予習) トップスの完成。 (復習) ボトムス 脇縫いの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
12	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの製作を予定表通りに進めることができる。	(予習) 計画表に沿ってボトムスを縫製する。 (復習) 作品の小物についてコーディネート計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
13	学泉祭商品開発作品を製作する。 グループで学泉祭に向けSDGsを意識した商品開発を行う。開発商品を決定し、制作計画を立てる。	演習・グループワーク 教員が説明後、グループで開発商品を決定。制作計画書を作成する。提出物（計画書）を点検し、フィードバックする。	開発商品を考え、制作計画を立てることができる。	(予習) サスティナブルファッションアイテムについて市場調査を行う。 (復習) 開発商品の制作過程についてまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性
14	学泉祭ショー作品中間発表・プレゼンテーション（オンデマンド） 他作品を鑑賞し、自身の作品に活かせるよう分析する。	演習 オンデマンド クラスルームを使用しクラスルームにあげられた他作品画像と作品説明をみて分析し、レポートにまとめ、クラスルームに提出する。提出物を点検し、フィードバックする。	自作品、他作品のデザイン、縫製方法、ディテールの長所や短所を分析し、レポートにまとめクラスルームに課題提出することができる。	(予習) 自身の学泉祭ショー作品の写真と解説書を作成し、クラスルームに提出する。 (復習) 作品に改善点等がないか確認し、次作品の製作計画を立てる。	90	主体性 課題発見力 発信力
15	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの製作を予定表通りに進めることができる。	(予習) 計画表に沿ってボトムスを縫製する。 (復習) 作品の小物についてコーディネート計画し、購入する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110H	総合ゼミナールⅠ（古橋敬一）	古橋敬一		基礎	1	必修	2前期
科目の概要							
テーマ：「その声を聞いてみる」							
このゼミは、このエリアで暮らし働いている、あるいは皆さんの関心があるテーマに近い仕事をしている人々に対する聞き書きを軸にした活動を展開していきます。聞き書きは、フィールドワークにおける調査手法の一つですが、それ自体に底知れない魅力があります。このゼミでは、その魅力を追究しながら、人の生き方や働き方について、またそれらが統合して生まれる地域社会や文化とは何かを考えていきます。正解は一つではなく、それに主体的に取り組む皆さんの数だけ生まれていくでしょう。 また、このゼミでは、創立者が教育信条としてうたった潜在能力の無限性を信じ、その潜在能力を可能性の限界まで引き出すことを目指し、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践し、多くの人たちとの交流を通して、社会人基礎力の習得に挑戦します。地域社会の中にある、さまざまな魅力や課題を発見し、それらの活用や課題を考えていく実践していく姿勢が、これからの社会人には求められています。皆さんの中にある潜在的な可能性が大きく開花することを楽しみにしています。 聞き書きの対象は、さまざまな人々を想定していますが、1つみなさんと共通してやってみたいと考えていることは、ゼミナールの皆さんが、聞いてみたい、あるいは興味のある職種の人たちへの仕事インタビューです。これは、皆さんのためにもなるし、その成果はみなさんに続く後輩の方々を始め、いろいろな人々にとっての道しるべになるでしょう。まちづくりのフィールドでの経験から聞き書きの魅力や手法を解説し、皆さんのインタビュー実践をサポートします。 人を通して社会を知り、そうした社会を考察して自分自身を知る。そんな活動を皆さんとじっくりと歩んでみたいと考えています。このゼミの取り組みは、ディプロマポリシー（以下、DP）の①～⑥に相当します。これらを身に付けるために行います。							
学修内容				到達目標			
① 聞き書きによる作品を考察する。 ② フィールドワークにおけるインタビューの作法と手法を学ぶ。 ③ インタビュー原稿の書き方を学ぶ。 ④ フィールドワークにおける聞き書きの活かし方を探究する。 ⑤ ゼミナール活動をまとめて発表し、発信する。				① 聞き書きによって制作されたいくつかの作品の意義や価値を理解し、自分なりに説明できる。（DP①④） ② フィールドワークにおいて臆さずインタビューを実施することができる。（DP③） ③ アウトプットのケースに応じ、インタビュー原稿を適切に書き起こすことができる。（DP④⑤） ④ フィールドワークにおける聞き書きの有意義な可能性を示すことができる。（DP②④⑤） ⑤ 資料を作成し、ゼミナール活動を他者にわかりやすく伝えることができる。（DP⑥）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、参考文献を調査し、自己研鑽ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。					
	働きかけ力	障壁を乗り越えるために、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。					
	実行力	目標を設定して、知識を獲得・活用し、課題解決に向けて最後まで行動し、努力を尽くすことができる。					
考え抜く力	課題発見力	問題と課題を混同せず考えることができる。小さくはじめ、トライ＆エラーを重ねながら、考察の精度をあげる取り組みができる。					
	計画力	目標を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。					
	創造力	既成概念や固定観念にとらわれず自由に発想し、他者からの意見も柔軟に取り入れることができる。					
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をまとめ、TP0に合わせて適切なメディアを選んで発表することができる。					
	傾聴力	積極的受動性の意味を理解し、人の話を真摯に耳を傾けることができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解しようとする寛容性を磨き、物腰柔らかに対応することができる。					
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置や次の展開を考えて行動できる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、ゼミ活動が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロー課題を行う。					
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。				講義と文献学習、聞き書きの実践、作品制作、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。主体的な参画をお願いします。きくこと、語ること、読むこと、書くことが比較的多いと思いますが、習熟して行きますので、繰り返し行います。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①	✓			・インタビューした内容が豊かに描かれている。 ・書くことによって思考したことが読み取れる文章になっている。 ・人の所作を描きながら、地域の文化的な風景が読み取れる文章になっている。 ・まちづくりへのヒントが描かれている。 ・他者に伝わる文章が書けている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			・pisa型学力 授業で学んだことことをいかして、インタビューができる。また、その成果をまとめたレポートが書ける。レポートを軸に、プレゼンができ、講評をもとに新しいアイデアを発見することができる。 ・プレゼン インタビューの成果をまとめた魅力的なプレゼンをすることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 自ら、必要な知識についてさらに理解を深めるための調査研究ができる。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 （働きかけ力） 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。 （実行力） 目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 （課題発見力） 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、連動させて考えることができる。 （計画力） 目標を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 （創造力） 課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 （発信力） グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 （傾聴力） グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 （柔軟性） 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 （状況把握力） メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。 （規律性） 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 （ストレスコントロール力） メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：①+②+③ A(優)：①+② ①積極的に聞き書きに挑み、オリジナリティのある作品が完成できている。 ②作品のコンセプトやテーマなどが秀逸である。 ③作品の完成度が極めて高く表現にも工夫が見られる。	B(良)：①+②+③ C(可)：①+② ①作品を提出できている。 ②作品が及第点の完成度で達成している。 ③作品の制作過程において周囲を積極的にサポートできていた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーションに参加し1年間の学修の流れを把握する。 ・自己紹介を通してゼミ生とお互いを知り合う。 ・ゼミの運営方針と進め方について理解する。	講義と演習 ・自己紹介のセッションを通してお互いを知る。 ・ゼミの運営方針と進め方についてレクする。 ・教師と学生が互いに期待していることを共有し、ビジョンを描く。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する。	(復習) 自分のやりたいことをまとめてレポートにする (予習) 配布資料をよく読み込んでミニレポートを書く。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	・聞き書きの作品解説と議論① 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	・聞き書きの作品解説と議論② 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	・聞き書きの作品解説と議論③ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8・9	・聞き書きの作品解説と議論④ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	・聞き書きの作品解説と議論⑤ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	・聞き書きの実践① 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用し、インタビューをとりまとめる	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	(予習) これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる (復習) 文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14・15	・聞き書きの実践①の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。 ・なお、14週目はオンデマンドで授業を実施する。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンでスライド資料を発表する ・14週目はオンデマンドとし、パソコンで授業を受ける。	自分の体験を他者へ伝えるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	(予習) 発表の準備をすすめる (復習) いただいた講評をもとに成果を校正する	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
					180	
					180	

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110I	総合ゼミナールⅠ（村上拓也）	村上拓也			1	必修	2前期
科目の概要							
前期は、様々なデザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）に関する知識・技術・デザイン手法を学ぶ。これらはディプロマポリシー①②③に相当する。 後期は、各自または各グループで設定したテーマに基づいて作品制作及び研究をするが、官学連携活動または産学連携活動に参加するかを選択する。最後に発表し、フィードバックを得ることでデザインの見識を深め、表現する能力を獲得し、建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付けていく。これらはディプロマポリシー①②③④⑤に相当する。 ＊以下の官学連携活動は有志による選択制で進める。 ・岡崎市民所生涯学習課 連携事業（300度仕掛け絵本の展示） ＊以下の産学連携活動は有志による選択制で進める。 ・遊び創造Labo 連携企画（企画内容の考案から始める） （2件の連携活動は4月上旬に開始し、夏季休暇も活動を行い、2025年度内に終了予定。）							
学修内容			到達目標				
① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を知る。 ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解する。 ③ コンテンツに応じて、適切なメディアを選択し、効果的に表現する。 ④ 発案からアウトプットまで一通りのプロセスを経験する。			① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を理解することができる。＊ディプロマポリシー②に相当する ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解し、説明することができる。＊ディプロマポリシー②に相当する ③ コンテンツに応じて、適切なメディアを選択し、効果的に表現することができる。＊ディプロマポリシー②に相当する ④ 発案からアウトプットまで一通りのプロセスを実施することができる。＊ディプロマポリシー①②③④⑤に相当する				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。					
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。					
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。					
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。					
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。					
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。					
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。					
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。					
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。					
	状況把握力	全体のなかで常に現在地を把握することに努め、状況を俯瞰し適切な対応ができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。					
テキスト及び参考文献							
使用テキスト及び参考文献は都度、classroomや授業内で紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「Webデザイン」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」、「デジタル映像演習」、「Webデザイン基礎演習」、「Webデザイン応用演習」、「デジタルマーケティング」、「デジタルコンテンツ」、「デジタル映像演習」							
資格との関連：ウェブデザイン実務士							
学修上の助言			受講生とのルール				
各自進めていく作品制作では、困ったことがあったら一人で抱え込まず、担当教員含め周りの人に相談してください。不明な点は都度確認してください。			Classroomなどのオンラインツールを使って連絡を行います。作品制作が遅れていたり、解決できない問題などで進まないとき、判断に困ることがあるときなど相談してください。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
		レポート	0	①					
				②					
				③					
				④					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				リブランディング作品の品質や取り組み方への姿勢、積極性を総合的に評価する。
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				（主体性）アプリの使い方を自ら調べながら積極的に作品制作を行うことができる。 （実行力）何度も修正を繰り返し作品の精度を上げることができる。 （課題発見力）作品制作のなかで、課題となる点を探し解決へ導くことができる。 （創造力）前例を調べつつ、新規性を開拓することができる。 （発信力）プレゼンテーションにて適切な手段を用いて、相手に伝わる工夫をすることができる。 （傾聴力）他者のプレゼンテーションを聴いて、適切に批評を行なうことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：前期のリブランディング作品について、テーマのコンセプトが的確であり、オリジナリティに富み、かつ極めて完成度が高く表現にも工夫が見られる。 A(優)：前期のリブランディング作品について、完成度が高く表現にも工夫が見られる。	B(良)：前期のリブランディング作品について、完成度が一定の水準に達してはいるが、改善項目が多数存在する。 C(可)：前期のリブランディング作品について、未完成または完成度が著しく低い。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	<前期> 各自、自己紹介をして親睦を深める。 1年を通して学びたいことを整理する。 (全週において、情報教室のPCを使用する)	講義と演習 教員の紹介に始まり、1人ずつ自己紹介をする。	自分をメタ認知し、自己紹介できる。	(予習) 各自、ロゴをリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	企業のリブランディングをテーマに進める。 各自、予習にてリサーチしたロゴについて発表する。 *産学・官学連携事業もこの週より適宜、同時に進行する。	講義 リサーチしたロゴを共有し、そのデザインがどのような意図を持って作られているかについての考察するディスカッションを行う。	デザインがどのような意図を持って作られているかを説明できる。	(予習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。 (復習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	企業のリブランディングをテーマに進める。 各自、予習にてリサーチしたロゴについて発表する。	講義 リサーチしたロゴを共有し、そのデザインがどのような意図を持って作られているかについての考察するディスカッションを行う。	デザインがどのような意図を持って作られているかを説明できる。	(予習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。 (復習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	企業のリブランディングをテーマに進める。 各自、予習にてリサーチしたロゴについて発表する。	講義 リサーチしたロゴを共有し、そのデザインがどのような意図を持って作られているかについての考察するディスカッションを行う。	デザインがどのような意図を持って作られているかを説明できる。	(予習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。 (復習) ロゴのリサーチ及びWebサイトのリサーチを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	企業のリブランディングをテーマに進める。 Illustratorにてベジェ曲線によるパス操作のスキルを獲得する。 ロゴのトレースを行い、より精度の高いパスの描画方法を練習する。	演習 Illustratorを用いてパス操作の方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでパスを扱い、ロゴのトレースが出来る。	(予習) パス操作を振り返る。 (復習) パス操作を練習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	企業のリブランディングをテーマに進める。 Illustratorにてベジェ曲線によるパス操作のスキルを獲得する。 ロゴのトレースを行い、より精度の高いパスの描画方法を練習する。	演習 Illustratorを用いてパス操作の方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでパスを扱い、ロゴのトレースが出来る。	(予習) パス操作を振り返る。 (復習) パス操作を練習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	リブランディングの実例をもとに学習する。 対象とする企業をリサーチする。	講義 リブランディングの実例を資料から学ぶ。 ディスカッションも行う。	リブランディングの実例を資料から学び、そのデザインの意図を説明できる。	(予習) 対象とする企業をリサーチする。 (復習) 対象とする企業をリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	リブランディングしたい企業について、作り替える意図を整理する。 現状の問題点やターゲット、リブランディング後に狙いたい効果などを言語化する。	講義と演習 リブランディングしたい企業について、コンセプトを言語化する。	リブランディングしたい企業について、コンセプトを言語化できる。	(予習) 対象とする企業をリサーチする。 (復習) 対象とする企業をリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	リブランディングしたい企業について、作り替える意図を整理する。 現状の問題点やターゲット、リブランディング後に狙いたい効果などを言語化する。	講義と演習 リブランディングしたい企業について、コンセプトを言語化する。	リブランディングしたい企業について、コンセプトを言語化できる。	(予習)対象とする企業をリサーチする。 (復習)対象とする企業をリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	各自選定した企業を対象にリブランディングを進める。 ラフスケッチの描画を行い、計画に基づいて各自IllustratorおよびPhotoshopにて制作を行う。 (ロゴやWebサイトなど制作する媒体は問わない)	演習 リブランディングしたい企業について、各自制作を行う。	リブランディングしたい企業について、各自制作することができる。	(予習)各自制作を進める。 (復習)各自制作を進める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	各自選定した企業を対象にリブランディングを進める。 ラフスケッチの描画を行い、計画に基づいて各自IllustratorおよびPhotoshopにて制作を行う。 (ロゴやWebサイトなど制作する媒体は問わない)	演習 リブランディングしたい企業について、各自制作を行う。	リブランディングしたい企業について、各自制作することができる。	(予習)各自制作を進める。 (復習)各自制作を進める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	各自選定した企業を対象にリブランディングを進める。 ラフスケッチの描画を行い、計画に基づいて各自IllustratorおよびPhotoshopにて制作を行う。 (ロゴやWebサイトなど制作する媒体は問わない)	演習 リブランディングしたい企業について、各自制作を行う。	リブランディングしたい企業について、各自制作することができる。	(予習)各自制作を進める。 (復習)各自制作を進める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	各自選定した企業を対象にリブランディングを進める。 ラフスケッチの描画を行い、計画に基づいて各自IllustratorおよびPhotoshopにて制作を行う。 (ロゴやWebサイトなど制作する媒体は問わない)	演習 リブランディングしたい企業について、各自制作を行う。	リブランディングしたい企業について、各自制作することができる。	(予習)各自制作を進める。 (復習)各自制作を進める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	各自選定した企業を対象にリブランディングを進める。 ラフスケッチの描画を行い、計画に基づいて各自IllustratorおよびPhotoshopにて制作を行う。 (ロゴやWebサイトなど制作する媒体は問わない)	演習 リブランディングしたい企業について、各自制作を行う。	リブランディングしたい企業について、各自制作できる。	(予習)各自制作を進める。 (復習)各自制作を進める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	前期のゼミ活動の総括を行う。 オンデマンドにて、デザインの考察レポートを書く。	【オンデマンドによる実施】 デザインの考察レポートを書く。	デザインの考察レポートを書くことができる。	(予習)ゼミ活動の総括を行う。 (復習)ゼミ活動の総括を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110J	総合ゼミナールⅠ（山田麻由）	山田麻由			1	必修	2前期
科目の概要							
本ゼミナールでは、Pisa型学力の考え方に基づき、SNS時代における広報活動の基礎を段階的に修得する。まず、SNSの特性理解や各種ツールの操作方法など、基礎的な知識・技能の獲得から始める。次に、写真撮影や動画編集、AIツールの活用など、習得した技術を実践的な場面で活用する力を養う（ディプロマ・ポリシー②・③・⑤に相当）。コンテンツチームでの制作を通じて、効果的な情報発信のための基礎的スキルを身につける（ディプロマ・ポリシー①・④・⑥に相当）。							
学修内容			到達目標				
① SNSプラットフォームごとの特性と、効果的なコンテンツ展開方法を理解する。 ② 写真・動画の基礎的な撮影技術と、各種制作ツールの基本的な操作方法を修得する。 ③ 既存作品を鑑賞し、効果的な表現方法について分析・考察する。 ④ チームでのSNSコンテンツの企画から投稿までの基本的なワークフローを理解する。 ⑤ AIツールを活用したコンテンツ制作の基礎を学ぶ。			① SNSプラットフォームごとの特性と、効果的なコンテンツ展開方法を理解する。（ディプロマ・ポリシー②に相当） ② 写真・動画の基礎的な撮影技術と、各種制作ツールの基本的な操作を行うことができる。（ディプロマ・ポリシー③に相当） ③ 既存作品を鑑賞し、効果的な表現方法について分析・考察できる。（ディプロマ・ポリシー⑤・⑥に相当） ④ チームでのSNSコンテンツの企画から投稿までの基本的なワークフローに則って進めることができる（ディプロマ・ポリシー①・④に相当） ⑤ AIツールを活用したコンテンツ制作を实践できる。（ディプロマ・ポリシー⑤・⑥に相当）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	SNSの最新トレンドに関心を持ち、学科の魅力を伝えるための表現として応用しようと努力する。					
	働きかけ力						
	実行力	担当する役割を責任を持って遂行し、チームで設定した目標に向かって積極的に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	SNSでの発信において、より効果的な表現方法や改善点を見極め、適切な解決方法を見つけることができる。					
	計画力						
	創造力	学科の特徴を活かしたコンテンツを企画し、魅力的な作品として展開することができる。					
チームで働く力	発信力	チーム内で情報や課題を適切に共有し、円滑なコンテンツ制作を進めることができる。					
	傾聴力	チーム内での意見や提案を注意深く聞き、必要に応じて確認や質問ができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキストなし 内容に応じてPDF資料をGoogle Classroomにアップロード							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「デジタル映像演習」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」、「デジタルコンテンツ」 資格との関連：ウェブデザイン実務士							
学修上の助言			受講生とのルール				
SNSの運用と広報活動を通じて、実践的なコンテンツ制作スキルを身につけていきます。チームでの制作では、それぞれの得意分野を活かしながら、積極的なコミュニケーションを心がけましょう。また、データ分析や改善提案を通じて、より効果的な発信方法を探求していきます。分からないことがあれば、すぐにチームで共有し、解決していきましょう。			円滑にプロジェクトを進めるために、授業開始5分前には着席し、Google Classroom、個人サーバー（B13）へのログイン、アプリケーションの起動などを済ませておいてください。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		レポート	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				学科SNS用ショート動画制作 ・コンテンツの企画 ・撮影と編集 ・チームでの情報共有と実践 (評価のポイント) ・SNSの特性を理解した効果的な発信 ・撮影・編集技術の習得度 ・チームへの貢献度
				②	✓				
				③					
				④	✓				
				⑤	✓				
	学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				(主体性) SNSの最新トレンドに関心を持ち、学科の魅力を伝えるための表現として応用しようと努力する。 (実行力) 担当する役割を責任を持って遂行し、チームで設定した目標に向かって積極的に取り組むことができる。 (課題発見力) SNSでの発信において、より効果的な表現方法や改善点を見極め、適切な解決方法を見つけることができる。 (創造力) 学科の特徴を活かしたコンテンツを企画し、魅力的な作品として展開することができる。 (発信力) チーム内で情報や課題を適切に共有し、円滑なコンテンツ制作を進めることができる。 (傾聴力) チーム内での意見や提案を注意深く聞き、必要に応じて確認や質問ができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
				②					
				③	✓				
				④					
				⑤	✓				
総合評価割合				100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) ①制作したコンテンツの完成度が極めて高く、SNSでの効果的な表現が実現できている。 ②企画内容とキャプションが優れており、学科の魅力が効果的に伝わる工夫がある。 ③SNSトレンドを的確に分析し、制作に反映できている。 ④チーム活動に主体的に参加し、積極的に提案・実行できている。 ⑤社会人基礎力の能力要素にある7項目が達成できている。 A(優) 上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。	B(良) ①担当するコンテンツを期限内に制作・投稿できている。 ②コンテンツの企画に工夫を凝らすことができている。 ③SNSトレンドを理解し、参考にできている。 ④チーム活動に定期的に参加している。 ⑤社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 C(可) 上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	イントロダクション ・ゼミの進め方、成績評価について ・自己紹介&交流	【講義】 ゼミの進め方、成績評価について 【演習】 自己紹介スライド作成・共有 自由に交流会	ゼミの進め方、成績評価について理解し、オンライン上で自己紹介スライドを作成して共有することができる。	(復習)ゼミメンバーのプロフィールを閲覧する。 (予習)CapCutをスマホにインストールしておく。	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 規律性
2	ワークショップ ・既存の映像作品の音声だけを流し、映像を想像して絵コンテに落とし込む	【講義】 WSの説明、グループ分け 【演習】 チームでワーク後、発表して共有	音声を聞いて映像を想像することができる。 作業の際、自分のアイデアを発信することができる。チームメンバーと協力し、最終的に絵コンテを完成させることができる。	(復習)Classroomにアップされた他のグループが作成した絵コンテを確認する。 (予習)CapCutに映像を読み込む方法を調べておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
3	ショート動画編集 ・前回のワークショップを撮影した動画を使用し、チームでCapCutを使用して動画を編集する。	【講義】 ・概要説明 ・撮影素材の確認 ・CapCutの基本操作レクチャー 【演習】 ・チームで方針と構成決め ・素材選定と編集作業	チームで動画の完成形を共有し、CapCutの基本的な操作を行い編集作業に入ることができる。	(復習)方向性・構成シートを再度確認する。 (予習)他のショート動画を視聴し、参考にする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	ショート動画 上映・フィードバック ・前回に引き続き編集作業	【演習】 ・編集作業・書き出し、アップロード ・各チームの作品を上映 ・ピアレビュー ・魅力的なショート動画とは何か分析	チームで作品を完成させ、動画に書き出し上映することができる。 他の作品の良さや特徴を言語化し、伝えることができる。 魅力的なショート動画の特徴を理解することができる。	(復習)他チームの作品を再度鑑賞する。 (予習)各種SNSにアップされている動画を視聴し、傾向を把握する。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	ミラーレスカメラ撮影 演習<写真編> ・各ゼミの授業にお邪魔して撮影する	【講義】 ・ミラーレスカメラの基本操作 ・写真を撮影する際に注意すること ・今回の写真を何に使用するか、どんな目的で撮影するか 【演習】 ・チームで各ゼミの授業風景を撮影 ・撮影後、写真をレビュー ・チームでディスカッション	ミラーレスカメラの基本操作を理解することができる。撮影した写真を見返し、チームでディスカッションすることができる。	(復習)他チームの写真を確認する。 (予習)次回、撮影でお邪魔するゼミのテーマと内容を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	ミラーレスカメラ撮影 演習<動画編> ・各ゼミの授業にお邪魔して撮影する	【講義】 ・ミラーレスカメラで動画を撮影する方法 ・動画を撮影する際に注意すること ・今回の動画を何に使用するか、どんな目的で撮影するか 【演習】 ・チームで各ゼミの授業風景を撮影 ・撮影後、動画をレビュー ・チームでディスカッション	ミラーレスカメラで動画を撮影することができる。撮影した動画を見返し、チームでディスカッションすることができる。	(復習)他チームの動画を確認する。 (予習)各種SNSのトレンド傾向を調べておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	※オンデマンドで実施 ※企画の立て方と発想法を学ぶ	【オンライン講義】※動画を配信し、それを視聴する ・企画を立てるための現状分析とトレンド把握 ・アイデア出しの方法 ・チーム分けについて ・チームで協働する時に注意すること	企画を立てるための現状分析やトレンド把握の重要性を理解することができる。アイデア出しの方法を個人で実践することができる。 チームで協働する際の注意事項を把握することができる。	(復習)配信された動画とPDFを再度確認する。 (予習)各種SNSのトレンド傾向を調べておく。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	ショート動画の企画を考えよう ・チームに分かれ、学科SNSにアップする ショート動画の企画を考える	【講義】 ・ターゲットとペルソナ設定 ・企画書のフォーマット確認 【演習】 ・高校生のニーズについてディスカッション ・トレンドリサーチ	学科SNSコンテンツを制作する目的やターゲットを把握することができる。チームで手分けをしてリサーチワークを行い、共有することができる。	(復習)他チームのディスカッション内容を確認する。 (予習)ショート動画の企画を一人3つ考えておく。	90	主体性 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ショート動画の企画を立てよう ・リサーチ結果をもとに、自分たちで具体的な企画を立案する	【演習】 ・各チーム、リサーチ結果を全体でシェア ・チームごとに具体的な企画を2つ考える ・チームでアイデアをシェアし、選定する	リサーチ結果を発表し、具体的な企画について意見を出し合い、チームで決めることができる。	(復習)他チームのディスカッション内容を確認する。 (予習)SNSのトレンドをキャッチアップする。	90	主体性 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
10	ショート動画の企画をブラッシュアップしよう ・ファシリテーターと共に、2つの企画案をブラッシュアップする	【演習】 ・ファシリテーターと共に、2つの企画案をより良くするためのディスカッションをチームで行う ・出てきたアイデアを組み込み、企画書を修正する	チームで企画案をより良くするためのディスカッションを行う際、積極的に発言することができる。修正案を企画書に落とし込むことができる。	(復習)他チームの企画書内容を確認する。 (予習)SNSのトレンドをキャッチアップする。	90	主体性 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
11	ショート動画を撮影する① ・企画に基づいて動画撮影を行う	【演習】 ・各チーム企画に基づいて撮影を行う ・撮影した動画をプレビューし、チームでディスカッションする	チームで企画に基づいて動画を撮影し、プレビューすることができる。	(復習)他チームの進捗報告を確認する。 (予習)ディスカッションして出た意見を確認しておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	ショート動画を撮影する② ・企画に基づいて動画撮影を行う	【演習】 ・前回のディスカッションをもとに改善する ・撮影した動画をプレビューし、必要な素材をCapCutに読み込ませる	ディスカッションで出た意見を意識しながら再度動画を撮影することができる。編集に必要な素材を選定し、CapCutに読み込ませることができる。	(復習)他チームの進捗報告を確認する。 (予習)編集に必要な素材を再度プレビューする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	ショート動画を編集する① ・構成台本に基づいて編集する	【演習】 ・CapCutを用いて編集を行う ・BGMや効果音の選定を行う ・エフェクトやトランジションを追加する	チームで役割を分担し、CapCutを用いて編集作業を進めることができる。	(復習)他チームの進捗報告を確認する。 (予習)現状の編集結果を再度確認する。		主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	ショート動画を編集する② ・構成台本に基づいて編集する ・完成したものを授業用のSNSにアップする	【演習】 ・CapCutを用いて編集を行う ・動画に書き出す ・キャプションを添えてSNSにアップする	編集をよりブラッシュアップすることができる。動画を書き出し、SNSにアップすることができる。	(復習)他チームの進捗報告を確認する。 (予習)SNS上での見え方を確認し、適宜キャプションを修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	鑑賞・ピアレビュー	【講義】 【演習】 ・チームごとに作品プレゼン・上映 ・ピアレビュー ・前期の振り返り	自分たちの作品のテーマや目的を発表することができる。他チームの作品の良い点や特徴を言語化し、伝えることができる。前期の活動を振り返って言語化することができる。	(復習)他チームの作品を再鑑賞する。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31110K	総合ゼミナールⅠ（小野功一郎） Comprehensive SeminarⅠ（Ono Koichiro）	小野功一郎			1	必修	2前期
科目の概要							
本科目では、生活デザイン総合学科での学びを活かしたプロジェクト型学習を通じて、実践的な問題解決能力を養います。前期では特に、AIとチャットボットに関する基礎知識の習得と、自らの興味・関心に基づいたチャットボット開発プロジェクトの計画立案を中心に学びます。データ分析手法やAIの基本的な仕組みを理解し、チャットボット開発の基礎を身につけることを目指します。							
学修内容				到達目標			
① AI技術とチャットボットの基礎知識について理解する。 ② 対話システムの設計原則とユーザー体験について学ぶ。 ③ プロンプトエンジニアリングの基本と効果的な指示の書き方を習得する。 ④ 各種チャットボット開発プラットフォームの特徴と使用方法を学ぶ。 ⑤ ユーザーニーズの分析と要件定義の方法を理解する。 ⑥ チャットボット開発における倫理的配慮と留意点について学ぶ。 ⑦ データの収集・整理・活用方法について理解する。 ⑧ プロジェクト管理の基礎とタイムラインの設計方法を学ぶ。 ⑨ チャットボット開発プロジェクトの企画書を作成する。 ⑩ プレゼンテーション技術を習得し、企画内容を効果的に発表する。				① AIとチャットボットの基本原理と活用可能性について説明できる。 ② 効果的なプロンプトを設計し、AIに適切な指示を出すことができる。 ③ ユーザーニーズを分析し、チャットボットの要件を定義できる。 ④ チャットボット開発における倫理的課題を理解し、対応策を提案できる。 ⑤ 基本的なチャットボット開発プラットフォームを使用できる。 ⑥ データの収集・整理・活用方法を理解し、実践できる。 ⑦ 自らの関心分野に基づいたチャットボット開発プロジェクトを計画できる。 ⑧ プロジェクト管理の基礎知識を活用し、開発スケジュールを立案できる。 ⑨ チャットボット開発の企画書を作成し、その内容を論理的に説明できる。 ⑩ 効果的なプレゼンテーションを行い、自分のアイデアを他者に伝えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自らの興味・関心に基づいたテーマを選定し、積極的に情報収集や学習を進めることができる。ゼミナール内での議論やプロジェクト活動に自発的に参加し、主体的に取り組むことができる。					
	働きかけ力	グループワークにおいて、メンバーと協力し合い、それぞれの強みを活かした役割分担を提案できる。また、必要に応じて外部の専門家や関係者に適切に協力を求めることができる。					
	実行力	設定した目標に向けて計画的に行動し、困難な状況においても最後まで諦めずに取り組むことができる。学んだ知識や技術を実際のプロジェクトに応用し、具体的な成果物を作り上げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	チャットボット開発において直面する問題や課題を的確に把握し、その原因を論理的に分析することができる。ユーザーニーズや社会的背景を多角的に考察し、解決すべき本質的な課題を見出すことができる。					
	計画力	チャットボット開発プロジェクトの全体像を把握し、明確な目標設定とそれに基づいた具体的な行動計画を立てることができる。限られた時間と資源の中で優先順位を決め、効率的に作業を進めるための計画を策定できる。					
	創造力	既存の知識や技術を組み合わせる新たな価値を創造し、独自性のあるチャットボットの企画・設計を行うことができる。様々な視点から問題解決策を考え、創意工夫を凝らした提案ができる。					
チームで働く力	発信力	自分の考えや提案を論理的かつ簡潔に説明し、他者に効果的に伝えることができる。プレゼンテーションツールを活用して視覚的にも分かりやすい資料を作成し、説得力のある発表ができる。					
	傾聴力	他者の意見や提案に真摯に耳を傾け、相手の考えを正確に理解することができる。異なる視点や意見を尊重し、建設的な対話を通じて相互理解を深めることができる。					
	柔軟性	多様な価値観や考え方を受け入れ、状況の変化に応じて自分の考えや行動を柔軟に修正することができる。他者からのフィードバックを前向きに捉え、自分の企画や提案を改善することができる。					
	状況把握力	ゼミナール内での自分の立場や役割を理解し、全体の進行状況を常に把握しながら適切な行動をとることができる。他メンバーの作業状況や課題を察知し、必要に応じてサポートすることができる。					
	規律性	ゼミナールの時間や提出期限を守り、約束事や決まりごとに従って行動することができる。責任ある態度で自らの役割を果たし、チーム全体の信頼関係を構築することができる。					
	ストレスコントロール力	プロジェクト進行中の困難やプレッシャーに対して、冷静に対処する方法を身につけている。ストレス状況下でも健全な判断力を保ち、適切な対応策を見出すことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：授業内配布 参考文献：授業内紹介							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「数理・データサイエンス・AIリテラシー」「データ解析とAI」「AIと社会」などの科目で学んだ知識を活かすことができる。 資格との関連：DS・AIパスポート資格取得の実践的な学びとなる。							
学修上の助言				受講生とのルール			
本ゼミナールでは、チャットボット開発に関する知識と技術を習得するだけでなく、自らの興味・関心に基づいたテーマ設定と問題解決能力の育成を重視します。日頃からAI技術やチャットボットの活用事例に関心を持ち、情報収集を行うことが大切です。また、グループワークやディスカッションに積極的に参加し、多様な視点から物事を考える習慣をつけましょう。				・授業への積極的な参加と主体的な学習姿勢を持つこと ・課題やプロジェクト活動は期限を守って取り組むこと ・グループ活動では協調性を持ち、メンバーと協力して作業を進めること ・他者の意見や考えを尊重し、建設的な議論を心がけること ・疑問点や困難な課題があれば、早めに相談・質問すること ・授業の進展具合等によりシラバスを変更する場合があります			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	20	①	✓	⑥	✓	チャットボット開発の企画書作成に向けた調査・分析・考察の深さと論理的な思考力を評価します。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	企画したチャットボット開発プロジェクトの内容、プレゼンテーションの質、および説得力を総合的に評価します。
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	30	①	✓	⑥	✓	主体性、チームでの協働力、課題発見力、計画力、創造力などを総合的に評価します。特に、授業への積極的な参加姿勢、期限遵守、チーム内での役割遂行を重視します。	
			②	✓	⑦	✓		
			③	✓	⑧	✓		
			④	✓	⑨	✓		
			⑤	✓	⑩	✓		
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) ・チャットボットの基本概念と開発技術を深く理解し、独自の視点で応用できる ・創造性と論理性を兼ね備えた高品質なチャットボット企画書を作成できる ・プロジェクト管理の知識を駆使し、綿密な開発計画を立案できる ・他者に分かりやすく説得力のあるプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に主体的に取り組み、他の学生の模範となる姿勢を示せる A (優) ・チャットボットの基本概念と開発技術を正確に理解し、適切に活用できる ・具体性と実現可能性を備えたチャットボット企画書を作成できる ・計画的にプロジェクトを進行し、適切な開発スケジュールを立案できる ・論理的で分かりやすいプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に積極的に参加し、建設的な意見やアイデアを提供できる	B (良) ・チャットボットの基本概念と開発技術を理解し、基本的な活用ができる ・基本要件を満たしたチャットボット企画書を作成できる ・プロジェクト管理の基礎知識を用いて開発計画を立てることができる ・内容が伝わるプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に参加し、課題に取り組むことができる C (可) ・チャットボットの基本的な概念を理解している ・指導のもとでチャットボット企画書を作成できる ・基本的な開発計画を立てることができる ・最低限の内容を含むプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に参加し、与えられた課題をこなすことができる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション・授業の概要と目標・AIとチャットボットの基礎概念・学生自己紹介	講義とディスカッション・授業の進め方や評価方法を説明・AIとチャットボットの概要を紹介・学生同士の交流セッション	チャットボットとAIの基本的な関係を理解できる。自己紹介を通じて自分の興味や関心を表現できる。	(予習) シラバスを読んでおく (復習) 授業で紹介された参考資料を確認する	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力
2	AIとチャットボット技術の基本・AIの概要と発展・チャットボットの仕組みと種類・主要なチャットボット開発プラットフォーム	講義とデモンストレーション・スライドを用いた講義・実際のチャットボットデモ・質疑応答	AIとチャットボットの基本的な仕組みを説明できる。代表的なチャットボット開発プラットフォームを挙げることができる。	(予習) AIとチャットボットに関する基本情報を調べる (復習) 講義内容をノートにまとめる	90	主体性 課題発見力 傾聴力
3	プロンプトエンジニアリング入門・プロンプトの基本概念・効果的なプロンプト設計・プロンプト実習	講義と演習・プロンプト設計の基本原則の解説・サンプルプロンプトの分析・小グループでのプロンプト作成演習	基本的なプロンプトを作成し、AIに指示を出すことができる。プロンプトの良し悪しを判断する基準を理解できる。	(予習) 配布資料を読む (復習) 自分で作成したプロンプトを改善する	90	実行力 課題発見力 創造力
4	対話システムの設計原則・ユーザー体験(UX)の基本・対話フロー設計・ペルソナ設定	講義とワークショップ・対話設計の原則説明・対話フロー図の作成方法・ペルソナ設定ワーク	基本的な対話フローを設計できる。ターゲットユーザーのペルソナを作成できる。	(予習) 日常で使用するチャットボットの対話を観察する (復習) 対話フローの設計を進める	90	計画力 創造力 発信力
5	チャットボット開発プラットフォーム演習①・主要プラットフォームの比較・基本的な設定と操作・シンプルなボット作成	実習形式・開発プラットフォームの紹介・デモンストレーション・ハンズオン演習	基本的なチャットボット開発プラットフォームにログインし、簡単な設定ができる。	(予習) 指定されたプラットフォームのドキュメントを読む (復習) 基本操作の復習と機能の探索	90	実行力 計画力 状況把握力
6	チャットボット開発プラットフォーム演習②・応用機能の活用・条件分岐の実装・データ連携の基礎	実習形式・応用機能のデモンストレーション・段階的な実装演習・ペアプログラミング	条件分岐を含む対話フローを実装できる。基本的なデータ連携の概念を理解できる。	(予習) 前回の演習内容を復習する (復習) 学んだ機能を活用した追加実装	90	実行力 課題発見力 創造力
7	高度なプロンプトエンジニアリング・コンテキスト管理・Few-shotとChain of Thought・プロンプトの最適化技法	講義と演習・高度なプロンプト技術の解説・事例分析・最適化演習	複数のターンにわたる対話コンテキストを管理できる。Few-shotの基本的な実装ができる。	(予習) 基本プロンプトの復習 (復習) 高度なプロンプト技術の練習	90	課題発見力 創造力
8	ユーザーニーズ分析とペルソナ設計・ユーザーリサーチの基礎・ニーズの抽出方法・詳細なペルソナ作成	ワークショップ形式・ユーザーリサーチの方法論紹介・グループディスカッション・ペルソナシート作成演習	ユーザーの基本的なニーズを特定し、簡単なペルソナを作成できる。ペルソナに基づいたシナリオを考えることができる。	(予習) 身近なユーザーのニーズを観察する (復習) ペルソナの精緻化	90	課題発見力 計画力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	チャットボットの倫理的配慮と留意点・AIの倫理的問題・プライバシーとデータ保護・バイアスと公平性	講義とディスカッション・倫理的課題の事例紹介・グループディスカッション・対策立案ワーク	チャットボット開発における基本的な倫理的課題を特定できる。自分のプロジェクトに関連する倫理的配慮点を挙げるができる。	(予習)AIの倫理に関する記事を読む (復習)倫理チェックリストの作成	90	課題発見力 計画力 柔軟性
10	データ収集・整理・活用方法・データ収集の手法・データクレンジング・データ分析の基礎	講義と演習・データ収集方法の解説・データ整理の実践・分析ツールの紹介	基本的なデータ収集方法を理解し、簡単なデータクレンジングができる。データの基本的な分析ができる。	(予習)データ収集の方法を調べる (復習)サンプルデータの整理と分析	90	課題発見力 計画力 状況把握力
11	プロジェクト管理の基礎・プロジェクト計画の立て方・タイムライン設計・タスク管理手法	講義とワークショップ・プロジェクト管理手法の紹介・タイムライン作成演習・タスク分解ワーク	基本的なプロジェクト計画を立てることができる。タスクを適切に分解し、スケジュールを作成できる。	(予習)プロジェクト管理ツールを調査する (復習)自分のプロジェクト計画の詳細化	90	実行力 計画力 状況把握力
12	チャットボット開発企画①・企画立案の方法・関心領域の特定・企画書の構成	ワークショップ形式・企画立案のガイダンス・アイデア出しセッション・企画書テンプレート提供	自分の関心領域に基づいてチャットボット開発の基本的な企画を立てることができる。企画書の基本構成を理解できる。	(予習)関心のある分野の調査 (復習)企画案の精緻化	90	主体性 計画力 創造力
13	チャットボット開発企画②・企画内容の深掘り・実現可能性検討・リソース計画	個別ワークとフィードバック・企画内容の個別相談・グループディスカッション・企画改善ワーク	企画内容の実現可能性を検討し、必要なリソースを見積もることができる。フィードバックを受けて企画を改善できる。	(予習)企画案の問題点を自己評価する (復習)フィードバックを反映した企画修正	90	課題発見力 計画力 創造力
14	プレゼンテーション準備・効果的なプレゼンの構成・視覚資料の作成・発表練習	ワークショップと演習・プレゼン技法の解説・視覚資料作成のガイダンス・発表練習とフィードバック	基本的なプレゼンテーション資料を作成できる。企画内容を明確に伝えるための構成を考えられる。	(予習)プレゼン資料の準備 (復習)フィードバックに基づく改善	90	創造力 発信力 状況把握力
15	企画発表会とフィードバック・企画プレゼンテーション・相互評価・改善点の特定	発表会形式・個人/グループ発表・質疑応答・相互評価シート記入	自分の企画を論理的に発表できる。他者の発表に対して建設的なフィードバックを提供できる。	(予習)発表の最終準備と練習 (復習)フィードバックを踏まえた今後の計画修正	90	発信力 傾聴力 柔軟性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力